平成 28 年 2 月 21 日

日本市民農園連合会員の皆様
恵庭市民農園協会会員の皆様
NPO 法人千葉県市民農園協会会員の皆様
日本市民農園連合静岡県連絡会会員の皆様
NPO 法人長崎さんさん２１会員の皆様
市民農園コーディネーターの皆様

日 本 市 民 農 園 連 合 会 長
NPO 法人千葉県市民農園協会会長
廻谷　義治

市民農園国際会議 in ウィーンの参加について

前略

平成 28 年度は、市民農園国際会議の開催の年であり、既に会議あるいはその案内等の中で、そのことに触れておりますが、開催国オーストリアからの情報や依頼が届きましたので、ご案内申し上げます。

まず、会議開催情報ですが、詳しい日程が日本市民農園連合事務局に届きました。その内容は下記２のとおりです。日本市民農園連合は、これまでは国際組織に準会員で加盟していましたが、この日程でお分かりになると思いますが、18 日の開会行事の中で正会員の調印が行われます。

この案内と共に、会議の参加者を 3 月 9 日までにエントリーするようにと依頼が来ております。この会議は Office International du Coin de Terre et des Jardins Famiriaux （市民農園の国際連盟組織の正式名称）という市民農園利用者団体組織が開催するもので、基本的には、日本市民農園連合に所属する各地域市民農園協会団体の会員・市民農園利用者なら、どなたでも参加できます。もちろん、参加者は日本の場合は全てが自己負担で参加していただいております。

また、日本代表団としてエントリーしますので、原則的には団体として行動していただきます。参加費用は、エントリー料が 1 人部屋で 890€、2 人部屋で 1 人 650€（同伴者あるいは相部屋対応。２人で 1,300€。）、航空運賃、国際会議日程以外の観光・視察等を加える場合の費用等となります。

大変急なお話で、日程的な余裕の無い中でのお願いで恐縮ですが、ぜひ参加してくださる方は下記 1 の様式により、3 月 6 日までに必着でお申込みくださるようにお願い申し上げます。

敬具

記―１：市民農園国際会議参加申込み

１　参加に当たっての参考

（１）会議が８月 17 日～21 日でとなりあり、お盆開けの週になります。

（２）17 日(水)午前中のホテル到着のためには、日本発 16 日が良いと思います。

（３）旅行日程としては次のものが考えられます。

Ａコース：会議終了後半日ウィーン市内散策、当日便帰国。16～22 日、7 日間。

Ｂコース：会議終了後、他市訪問１～２日滞在後帰国。16～25 日、10 日間。

Ｃコース：会議終了後、ミュンヘン経由で帰国。16～25 日、10 日間。

Ｄコース：会議終了後、チューリッヒ経由で帰国。16～25 日、10 日間。

（４）ご家族同伴は歓迎します。ご友人同伴の場合は、同じ市民農園団体の会員としてください。

２　参加申込み

（１）様式は定めません。次のことを記入して、メールまたはファックス、あるいは郵便でお願いします。

（２）申込みは３月６日までにお願いします。

（３）申込みは、次のような記載でお願いします。

――――――――――――――――――――――――――

市民農園国際会議 in ウィーンの参加を申し込みます。

１　参加者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　年齢：＿＿＿＿

２　性別：Mr.　Mrs.　Ms.　（いずれかに○をつけてください。）

３　住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４　言語：　英語、　ドイツ語、　フランス語

（国際会議の公用語は、英語、ドイツ語、フランス語です。通訳の場合に選択する言語をお選びください。）

５　ホテルの部屋：シングルルーム　ダブルルーム（同伴者：＿＿＿＿＿＿）

６　ご連絡を取りやすいように、電話番号、e-mail のアドレスも教えて下さい。

記―２　**市民農園国際会議 in ウィーン　開催日程**

８月１６日（火）

15:00－18:00　　理事会
19:00　　ホテルで夕食

８月１７日（水）

09:00－12:00　**会議参加者の登録**
09:30　　国際連盟の総会
10:45　　コーヒーブレイク
11:15　　国際連盟の総会
12:30　　軽いランチ
15:00　　モルビッシュ**への移動**
16:30　　ノイジードラー湖への船旅
17:30　　馬車でノイジードラー湖の国立公園を通り抜ける
18:30　　Csarda（ハンガリー風）でディナー
21:30　　ホテルに向けて出発

８月１８日（木）

09:00　　オフィス・インターナショナル 90 周年記念式典
コングレス 2016 の開会
「持続可能性と責任があるリソースマネージメントを考えた
将来への専門家の助言
国際組織会長 WOHATSCHEK 氏からの歓迎
Mrs. Sabin OBERHAUSER 健康大臣による式辞
欧州会議メンバーMrs.Viviane REDING による式辞
事務局長 Mrs.Malou WEIRICH による式辞
スポンサーからの歓迎の言葉
日本連合の加盟許可証の調印
10:15　　コーヒーブレーク
10:45　　会議主題への導入：
「割り当てられた土地の生態的な維持管理に関しての後世に
向けての市民農園利用者の責任」
11:05　　持続可能性と資源の責任がある使用に関しての専門委員のため
の教育の処置
11:30　　ドイツ連合の専門的助言（Werner HEIDEMANN）

11:45　　オーストリア連合の専門的助言（Fritz HAUK）
12:00　　フランス連合の専門的助言（Daniel CAZANOVE）
12:30　　ランチビュッフェ
14:00　　ウィーンの街 観光ツアーに出発
17:00　　ホテルに戻る
18:00　　市民農園連盟の１００周年記念日祝典と国際議会開会の夜会
オーストリア連合会長 Mr. Wilhelm WOHATSCHEK 歓迎挨拶
社会問題大臣 Mr. Rudolf HUNDSTRFER による式辞
ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ･ｵﾌｨｽ事務局長 Mrs. Malou WEIRICH による式辞
１００周年記念日における映画のプレゼンテーション
オーストリア連合の歴史のプレゼンテーション
20:00　　夜会ビュッフェ
ミュージカルプログラム

８月１９日（金）
09:00－13:00　磁器工場アウガルテンへの同伴者の出発
工場と博物館を訪問
レストランアウガルテンでコーヒーと 7 ケーキ
09:00　　ワークショップ　　10:45　こーイーブレイク
11:15　　ワークショップ
13:00　　ランチビュッフェ
14:30　　ホテルを出発
15:15　　(ウィーンの）ガイド付き街中ウォーキング・ツアー
16:15　　集合イベントで続く幾つかの市民農園サイトを訪問
21:00　　ホテルに向けて出発

８月２０日（土）
09:30　　本会議
コスト行動の結論：Mrs. Runrid FOXKSEMPER によるヨーロッパにおける都会の市民農園
プレゼンテーションとディスカッションの要約：
「持続可能性に関しての将来の専門家のアドバイスとリソースの責任がある使用」
11:00　　コーヒーブレイク
11:30　　提案のプレゼンテーションと国際賞の授与
オフィス インターナショナル の活動報告

	決議のプレゼンテーションと受理
	国際連盟会長 Wilhelm WOHATSCHEK 氏による辞任演説
	会長職の Hervé BONNAVAUD 氏（フランス）への移行
	新しい国際連盟会長による就任式スピーチ
	国際会議の終了
13:30	ランチ ビュッフェ
16:00	ホテルからの出発
16:45	馬屋を見ながらの「Stallburg」でのアペリチフ
17:00	「Spanische Hofreitschule」の前庭でのアペリチフ
18:00	「Spanischen Hofreitschule」でのプレゼンテーション：Wienna Sängerknaben を持つ「ウィーンへの賛辞」
19:30	「Hofburg」での最終の夜会 「Redoutensaal」での夜会ディナー
23:00	ホテルへ戻る

８月２１日（日）

参加者の出発　（朝食後解散）

参考

Mörbisch（モルビッシュ）

ノイジードラー湖周辺の文化交流の地

ノイジードラー湖

オーストリア・ハンガリー国境の世界遺産

磁器工場アウガルテン

「Stallburg」

「Spanische Hofreitschule」　スペイン乗馬学校

「Hofburg」　王宮

「Redoutensaal」　王宮内の舞踏演奏会場